

魅力度向上対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>開 会 午前 9 時 5 5 分 令和 4 年 5 月 1 2 日 閉 会 午前 1 0 時 4 0 分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>企画経済委員会室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委 員</p>	<p>委員長 玉 田 和 浩 副委員長 伊 藤 秀 光 委 員 村 下 貴 夫 野 村 美 穂 布 俣 正 也 伊 藤 英 生 澄 川 寿 之 平 野 恭 子 平 野 祐 也 小 川 祐 輝 森 益 基</p>
	<p>執 行 部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>主査 水 谷 昭 之 主任 脇 若 知 香 子</p>	

5 会議に付した案件	
件名	審査の結果
1 令和4年度重点調査項目等について	原案のとおり承認
2 令和4年度所管事務事業の説明聴取について	
3 令和4年度委員会活動について	
4 その他	

6 議事録（要点筆記）

○玉田和浩委員長

ただいまから、魅力度向上対策特別委員会を開会する。

最初に、当委員会の運営であるが、委員会が所管する特定分野の中から、テーマを絞り込んだうえで、正副委員長の主導のもと、調査検討を行うものである。

当初、昨年度までの2年間を目途に委員会として一定の提言を行うことを目指すこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、視察を始めとした調査が十分できない状況にあることを踏まえ、調査期間が4年程度に延長されたところである。

委員の皆様には、積極的なご審議をお願いしたい。

さて、本日の委員会は、当委員会に調査を付託されている「魅力度向上対策」に関する事務事業について、執行部の説明を聴取するとともに、本年度の活動についてご審議いただくため、開催したものである。

○玉田和浩委員長

初めに、当委員会の「本年度の重点調査項目」については、5月10日に開催された正副委員長会議で、配布した会議資料「別紙」のとおり、「魅力度向上対策の推進に関すること」に決定されたので、ご承知願いたい。

次に、具体的な調査項目については、本県が有する様々な魅力のうち、本年度は、「観光」、「農畜水産物・県産材」及び「文化・芸術」に関する魅力度向上対策について調査することとし、例えば、「別紙」のとおり、『観光産業の回復に向けた新たな施策展開に関する調査』、『世界に誇る「ぎふブランド」の磨き上げと発信に関する調査』、『「本県の新たな魅力を引き出す」地域が誇る文化・芸術の活用に関する調査』の3項目を取り上げてはどうかと思うが、意見はあるか。

（「なし」の声あり）

○玉田和浩委員長

意見等もないようなので、本年度は、案のとおり調査していくことに決定した。詳細については、正副委員長に一任願う。

○玉田和浩委員長

それでは、重点調査事項を踏まえ、本年度の調査項目に係る所管事務事業について説明をお願いする。

また、執行部の紹介もあわせてお願いする。なお、説明員については、調査項目を担当する部局を中心に、出席をお願いしている。

質疑は説明終了後をお願いする。

（執行部 挨拶・紹介・説明）

○玉田和浩委員長

説明に対する質疑はあるか。

○野村美穂委員

デジタル技術の活用等による宿泊事業者の生産性向上に向けて、観光事業に精通した専門家を派遣するとのことだが、派遣先施設の規模はどの程度とする予定か。

○渡部観光企画課長

県内の中小施設を中心とする12宿泊施設への専門家派遣を予定しており、県旅館・ホテル生活衛生同業組合と連携して実施していく。

○野村美穂委員

非住宅建築相談センターで非住宅建築物の設計を担う建築士等を育成するとのことだが、どのように育成をするのか。また、育成する人数は。

- 古沢県産材流通課木造建築推進室長
木造の構造設計ができるよう建築士を対象としたステップアップとしての研修を実施する。対象となる建築士は、現在15名程認定している木造建築マイスターである。
- 野村美穂委員
研修はいつ実施するのか。
- 古沢県産材流通課木造建築推進室長
木造建築マイスター研修は8月頃から冬まで実施する予定。
- 伊藤秀光副委員長
県内に山城はいくつあるのか。
- 北村観光資源活用課長
平成17年当時の調査によると、県内には811の山城がある。ただし、これら全てを観光資源として活用することは困難であるため、地元市町村と相談しながら進めていきたい。
- 伊藤秀光副委員長
山城の整備について、一元的には地元市町村が行うものであるが、その規模や価値によっては市町村のみでの対応が難しいため、県には支援をお願いしたい。
- 北村観光資源活用課長
山城には文化財としての価値に加え、観光資源としての価値もあると考えている。地元市町村の意向を踏まえつつ情報発信するなど、誘客に活用していきたい。
- 河田文化伝承課長
山城には史跡として国や県の指定を受けるべきものもある。指定にあたっては、市町村と連携して価値調査を行ったうえ、地元の意向を踏まえて進めていきたい。
- 村下貴夫委員
ウッドショックで木材価格が上昇しているが、県産材を活用した家づくり支援事業の補助額は変わっているのか。また、いつから始めた事業なのか。補助棟数は頭打ちではないか。
- 古沢県産材流通課木造建築推進室長
補助額は20万円で、事業開始時から変わっていない。本事業は平成19年度から開始し、補助棟数は当初100棟程度であったが、今年度は300棟を補助する予定である。
- 村下貴夫委員
木材価格の高騰を踏まえ、補助額を上げてはどうか。検討をお願いします。
- 澄川寿之委員
木質バイオマスの導入支援について、恵那の事業者から木質バイオマス施設を導入したものの、近隣地域から木材が集まらなると聞いた。木材確保に向けてどのような支援をしているのか。
- 古沢県産材流通課木造建築推進室長
地産地消型の木質バイオマス施設の木材確保については、未利用材の搬出支援や研修会を行っている。
- 澄川寿之委員
それだけでは足りないのではないかと。木質バイオマス導入施設における木材確保状況の確認をお願いします。
- 布俣正也委員
県農産物の輸出拡大は大切であるが、県内需要の喚起に向けて、県民に県農産物を知ってもらうことが必要ではないか。
- 高木農産物流通課長
地産地消の観点で、県民に岐阜の良いものを知ってもらうための地産地消フェアを年4回開催しており、清流長良川の恵みの逸品やぎふ清流GAP商品などのPRや販売に取り組んでいる。

○布俣正也委員

取組みの効果を数字で把握しているか。

○高木農産物流通課長

数字としては把握していないが、定性的な効果を含め今後、把握することを検討したい。

○平野祐也委員

近年、犬山城の来場者が非常に多いようだが、犬山城の活用も含めて、木曾川中流域における観光振興の今後の進め方は。

○渡部観光企画課長

犬山城の来場者を岐阜県側にも招き入れるようなプログラムを造成するなど、犬山市を含む木曾川中流域観光振興協議会の5市町と連携して進めていく。

○平野祐也委員

犬山城の活用については犬山市と連携しきれていないのではと感じるため、連携に向けた働きかけを積極的に行うようお願いしたい。

○渡部観光企画課長

犬山市からは犬山城を大いに活用いただければとの話をいただいているため、本県としても誘客に向けて積極的に活用していく。

○森益基委員

先日、全国和牛能力共進会岐阜県出品決起大会に出席した際、高校生の取組みにとっても感銘を受けた。

5年に一度の共進会出場のほかに、高校生・農大生に対してどのような支援を行っているか。

○桑畑畜産振興課飛騨牛銘柄推進室長

飛騨牛就農応援隊などの事業を活用し、高校生・農大生に対する研修などを支援している。また、全国和牛能力共進会は5年に一度の開催であるが、毎年開催される岐阜県畜産共進会には、高校生・農大生からも出品されており、上位入賞を目指した取組みを支援している。

○森益基委員

引き続き、高校生・農大生など、次の担い手育成に向けた取組みをお願いする。

○野村美穂委員

百貨店が定期的に発行するカタログに、岐阜県のふるさと納税の返礼品が掲載されているが、そのような百貨店はどのくらいあるか。また、県と百貨店がふるさと納税を通して連携することで、岐阜県及び県産品の知名度がより向上すると思われるが、どう考えているか。

○浦崎県産品流通支援課長

百貨店のカタログへの掲載に関しては、百貨店やセレクトショップのバイヤーと県内企業をマッチングさせる事業による掲載実績があり、百貨店を通じて全国に県産品の魅力を伝えている。

○丸山観光国際局長

ふるさと納税は地域振興課で所管しており、昨年度にふるさと納税返礼品用の高島屋のギフトカタログに対象となる県産品を1回掲載いただいた。

○野村美穂委員

松坂屋、三越ほか大都市圏の百貨店においても同様の仕組みでカタログ等が発行されていると思われるため、百貨店へのアプローチを行い、岐阜県及び県産品の魅力を多くの方に知ってもらう機会として取り組んでほしい。

○小川祐輝委員

大阪・関西万博に向けた関西圏での取扱店拡大を図るためのプロモーションとは。

○高木農産物流通課長

昨年までは、東京オリ・パラ大会に向け、首都圏のホテル・レストランでの県産農畜水産物のプロモ

ーション活動を実施してきた。これと同様の手法で、2025年大阪・関西万博を一つのゴールと捉え、大阪に飛騨牛や鮎、高冷地野菜を売り込んでいくことを考えている。

○小川祐輝委員

万博は地場産業である刃物や美濃焼などの売り込みには良い機会であるが、早めに仕込む必要がある。これについてどう考えるか。

○浦崎県産品流通支援課長

東京オリ・パラ大会では美濃手すき和紙や陶磁器などの地場産業製品が活用された実績があり、今後、日本国際博覧会協会と調整していく。

○伊藤秀光副委員長

「エンジン01in岐阜」について、県民の認知度が低いように思うが、広報はどのように行う予定か。

○高井文化創造課芸術文化企画監

今回は10月末に開催予定のため、昨年度と比較して広報期間を長く確保できると考えており、主要2紙での全面広告に加え、フリーペーパーを活用した各戸周知やラジオによる広報等により誘客に努めていく。

○伊藤秀光副委員長

著名人が来県する貴重な機会であるので、昨年度までの経験を活かした効果的な誘客をお願いする。

○玉田和浩委員長

質疑も尽きたので、所管事務事業の説明聴取を終了する。

○玉田和浩委員長

次に、「令和4年度の委員会活動について」であるが、特別委員会の視察については、配布した『委員会視察要領』、『委員会視察に関する申し合わせ事項』のとおりである。視察先等については、必要性を十分に勘案し、委員をはじめ、関係者と調整のうえ、決定していくこととし、詳細については、正副委員長に一任願いたい。異議はないか。

（「異議なし」の声あり）

○玉田和浩委員長

異議がないようなので、そのように進めさせていただく。

これをもって、本日の委員会を終了する。

魅力度向上対策特別委員会 配席図

令和4年5月12日(木)午前
企画経済

出入口

文化伝承課 全国高等学校総合 文化祭推進監 林孝美								農政課 農業研究企画監 後藤功一
文化創造課 国民文化祭・文化祭 芸術・文化祭・全国障害者 田中康宏推進監		文化創造課 芸術文化企画監 高井哲也		観光資源活用課 観光資源活用課 推進室長 関ヶ原古戦場活用 吉村竜一		観光誘客推進課 観光誘客企画監 加藤英彦		農村振興課 管理調整監 副島洋子
県産材流通課 木造建築推進室長 古沢弘康		観光誘客推進課長 観光誘客推進課長 池戸克成		観光資源活用課長 観光資源活用課長 北村和弘		都市公園課 ぎふワールド・ローズ ガーデン 企画推進室長 小池貴久		畜産振興課 飛騨牛銘柄推進室長 桑畑孝慈
文化伝承課長 文化伝承課長 河田哲也		県産品流通支援課長 県産品流通支援課長 浦崎宏幸		観光企画課長 観光企画課長 渡部達弥		都市公園課長 都市公園課長 清水浩二		里川振興課長 里川振興課長 金武雅人
森林活用推進課長 森林活用推進課長 城戸脇研一		文化創造課長 文化創造課長 大川敦		観光国際局長 観光国際局長 丸山淳		観光国際局副局長 観光国際局副局長 堀智考		農産物流通課長 農産物流通課長 高木賢二

出入口

傍聴席

議 会
事務局

小川(祐)員
委員
平野(恭)員
委員
伊藤(英)員
委員
村野員
委員

森(益)員
委員
平野(祐)員
委員
澄川員
委員
布俣員
委員
村下員
委員

伊藤(秀)副委員長
玉田委員長

出入口